

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

| 視点 | 4年間の目標 (平成28年度策) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価(月 日実施) | |
|----------------------|--|--------------------------------------|---|--|------|----------|--------------------|-------------|-------|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 教育課程 学習指導 | <p>○一人ひとりのニーズに合わせた教育を実践する。</p> <p>○「自立と社会参加」をめざし、幼稚園から高等部まで子どもたちが主体的意欲的になる授業を実践する</p> <p>○「授業改善プロジェクト」を継続し、授業改善を組織的に行う。</p> | <p>○子どもの成長に応じた授業づくりを組織的に行う。</p> | <p>①「自立と社会参加に向けた学習内容表」を活用し、各教科等のねらいと育てたい力を明確にした授業計画を作成する。</p> <p>②アセスメントを基にした的確な個別教育計画を作成し、授業実践に繋げる。</p> <p>③研究研修グループを中心に組織的な授業改善に取り組み、教員一人ひとりの授業力の向上を図る。(継続)</p> | <p>①授業業計画に「自立と社会参加に向けた学習内容表」を活用できたか。</p> <p>①新学習指導要領の各教科等のねらいや育てたい力を授業計画に反映させられたか。</p> <p>②アセスメント評価を的確に読み取り、個別教育計画の作成、授業実践に繋がられたか。</p> <p>③授業担当教員全員が年1回の授業公開を行い、オーダーシートを活用した授業改善ができたか。</p> | | | | | |
| 2 (幼児・児童・)生徒指導・支援 | <p>○一人ひとりの障害の特性や教育的ニーズに有効な支援ができるよう。「複数の専門性」を持つよう自己研鑽に努める。</p> <p>○「ICT推進プロジェクト」を継続していく。</p> <p>○アセスメントを充実させ授業に反映させる。</p> <p>○インクルーシブ教育を推進する。</p> | <p>○一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援・指導の充実を図る。</p> | <p>①校内外の人的資源等を効果的に活用し、教員一人ひとりの専門性を高め、チーム力の向上を図る。</p> <p>②いじめ対策マニュアルを基軸とした幼児児童生徒指導体制を強化する。</p> <p>③子どもの実態、教育的ニーズに応じたICT機器の授業への活用を推進する。</p> | <p>①校内支援システムを利用できたか。</p> <p>①障害特性の理解に努め、各種研修会を実施したか。</p> <p>②緊急対応時の役割分担を明確にし、ケースに応じた対応ができたか。</p> <p>③ICT機器に関する研修会を開催し、ICT機器の活用が推進できたか。</p> | | | | | |

| | 視点 | 4年間の目標 (平成28年度策) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価(月 日実施) | |
|---|--------------|--|--------------------------------------|---|--|------|----------|--------------------|-------------|-------|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 3 | 進路指導・支援 | ○子どもたち一人ひとりの生活の充実をめざし、発達段階に応じた進路指導・支援を行う | ○子どもたちの将来の生活を見据えた幼小中高一貫したキャリア教育を実行する | ①キャリア教育の視点による地域資源を活用した進路学習に取り組む。 ②個別の支援計画策定会議を小学部4年、中学部1年、高等部1年に実施し、将来を見据えた教育活動を実施する。 ③進路支援チームを中心とし、幼小中高それぞれの段階で、自立と社会参加を目指した学習に取り組む。 | ①地域と連携したキャリア教育が実施できたか。 ②個別支援計画策定会議を実施し、将来を見据えた個別の支援計画を確認できたか。 ③幼小中高各段階での自立と社会参加を目指した学習に取り組めたか。 | | | | | |
| 4 | 地域等との協働 | ○地域の支援教育のランドマークとしての役割を実行する ○インクルーシブ教育の推進を図る | ○相模原市の支援ネットワークの一員としてセンター機能の充実を図る | ①地域学校と連携し、巡回相談などのセンター的機能としての取り組みや、地域のネットワーク会議などに参加する。 ②地域の資源を活用した教育活動に取り組む ③児童生徒が地域との結びつきを深めるため、居住地交流、共同学習等により円滑にすすめる。 | ①巡回相談等の地域学校との連携が充実したか。またネットワーク会議等の参加で地域との情報のやり取りが充実したか。 ②地域の資源を活用した教育活動に取り組むことができたか。 ③交流及び共同学習を円滑に実施するとともに、授業や学校の取組を地域へ発信できたか。 | | | | | |
| 5 | 学校管理 学校運営 | ○信頼と期待に応える学校づくりを推進する ○安心して安全な教育環境の整備に取り組む ○防災教育を推進する ○不祥事防止の徹底を図る | ○安心して安全な教育環境の整備と防災教育を推進する | ①地域との協働の防災活動に取り組み、福祉避難所開設に向けた整備を行う。 ②災害時を想定した訓練を実施し身を守る力を身に付ける。 ③不祥事防止研修会等の内容を工夫し、一人ひとりの意識の向上を図る。 | ①福祉避難所の活動マニュアルを作成できたか。 ②これまでの訓練を分析し、今年度の訓練に反映することができたか。 ③タイムリーな課題を盛り込んだ不祥事防止研修会を開催できたか。 | | | | | |